

令和6年度進行管理・評価シート

太宰府市 歴史的風致維持向上計画 第2期(令和5年3月29日認定)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

- 1 法定協議会及び支援連携体制について 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

- 1 景観計画の活用 2
2 歴史的風致維持向上地区計画の活用 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

- 1 歴史的風致形成建造物保存修理事業 4
2 歴史的建造物調査事業 5
3 観世音寺鐘楼保存修理事業 6
4 大宰府関連史跡整備事業 7
5 大宰府関連史跡環境整備事業 8
6 大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業 9
7 特別史跡水城跡保存修理整備事業 10
8 特別史跡水城跡環境整備事業 11
9 特別史跡大野城跡環境整備事業 12
10 史跡宝満山整備計画策定事業 13
11 歴史の散歩道環境整備事業 14
12 太宰府天満宮参道環境改善事業 15
13 小鳥居小路周辺環境改善整備事業 16
14 朱雀大路修景整備事業 17
15 日田街道修景整備事業 18
16 日吉神社通路環境整備事業 19
17 歴史的市街地の修景推進事業 20
18 歴史的市街地の緑化推進事業 21
19 四王寺山周辺環境整備事業 22
20 大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業 23
21 さいふまいの風景地環境整備事業 24
22 金掛け梅公園整備事業 25
23 苅萱の関跡環境整備事業 26
24 朱雀大路解説広場整備事業 27
25 筑前国分尼寺跡解説広場整備事業 28
26 御笠団印出土地解説広場整備事業 29
27 小町広場環境整備事業 30
28 大宰府跡ガイダンス施設等整備事業 31
29 都府楼交流施設整備事業 32
30 四王寺山の環境保存活用事業 33
31 門前町並み保存活用事業 34
32 太宰府市民遺産育成支援事業 35
33 民俗文化財調査普及事業 36
34 太宰府発見塾事業 37
35 太宰府の絵師関係資料調査普及事業 38

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

- 1 文化財の防災 39
2 文化財の保存・活用 40

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

- 1 新聞・テレビ 41

⑥その他(効果等)(様式1-6)

- 1 集客数等にみる効果 42

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 43

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
法定協議会及び支援連携体制について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	太宰府市歴史的風致維持向上協議会を中心として、計画推進に係る事項や計画変更の協議などを行う。本計画の事務局を都市計画課並びに文化財課が担い、事業担当課や文化財の所有者・管理者との連絡調整を行う。また、必要に応じて、太宰府市景観・市民遺産審議会などに対し計画の実施状況を報告し意見を求める。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、法定協議会である歴史的風致維持向上協議会を2回(10/23、3/26)開催した。第1回会議では、今年度実施している事業の進捗状況の報告を行った。第2回会議では今年度の事業の進捗評価を行うと共に、次年度に実施する予定の歴史的風致維持向上計画の事業について報告し、意見をいただいた。 また、太宰府市景観・市民遺産審議会を2回(7/16、10/30)開催し、令和5年度の景観計画に関する状況報告、景観重要建造物の指定、だざいふ景観賞の審議等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	委員や予算の関係上、会議の回数が少ないため、課題等があれば会議以外でも委員と連絡を取り合い、適切に事業が遂行できるよう意見を求めたいと考えている。		
状況を示す写真や資料等			



第1回歴史的風致維持向上協議会(10/23)



第2回太宰府市景観・市民遺産審議会(10/30)

評価軸 2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和6年度
景観計画の活用		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
 市域全体を景観計画区域とし、その中を自然、歴史、暮らしの視点で5つの区域に区分している。さらに「人と遺跡の共存史」と「天満宮と宰府宿」の2地区を景観育成地区に設定し、歴史的風致維持向上計画の重点区域を含めている。建築行為時には周辺景観やまち並みへの配慮、伝統的な家並みや山並みに調和した色彩とするなどの景観育成基準を定めている。

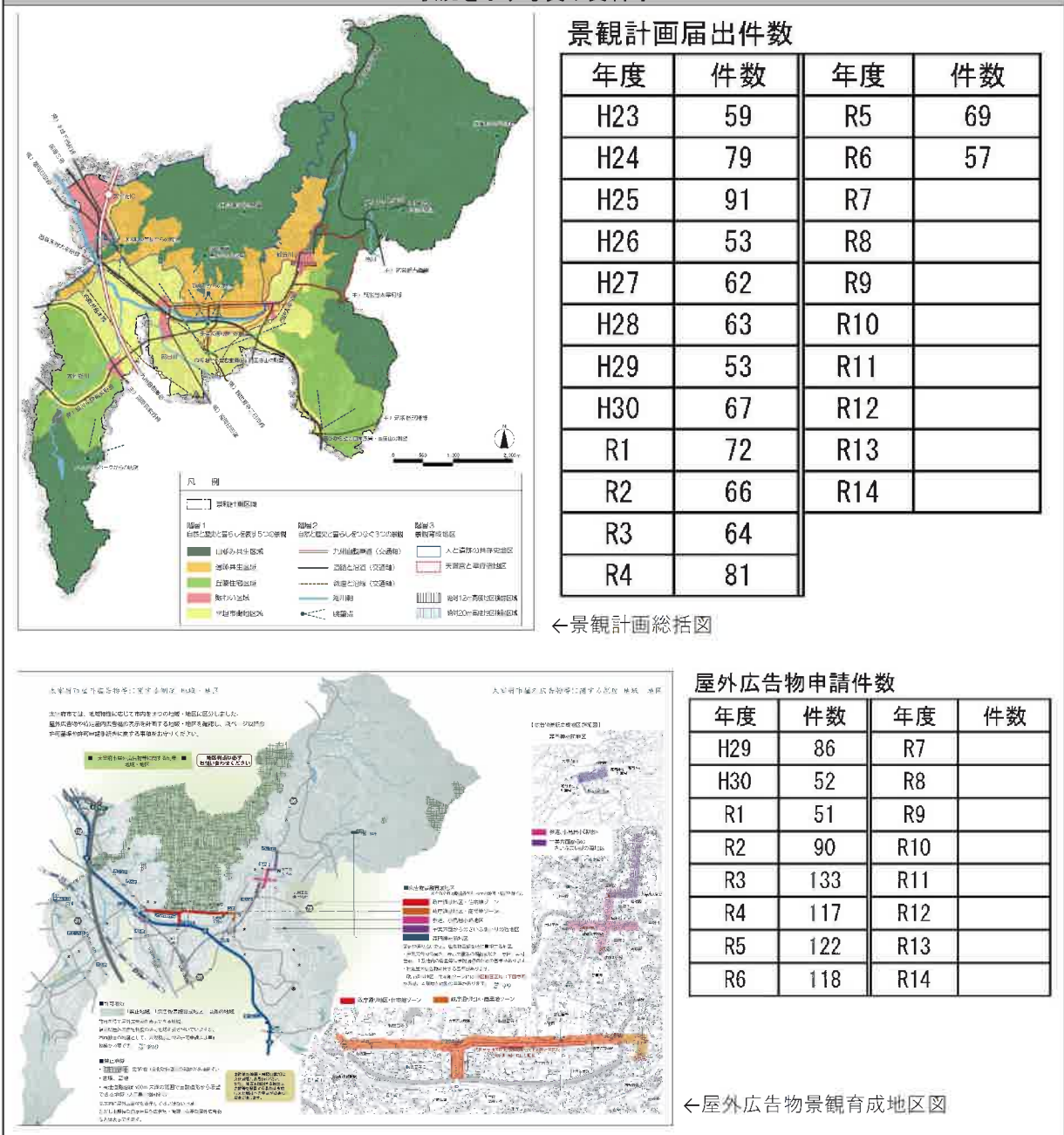
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

景観法及び太宰府の景観と市民遺産を守り育てる条例に基づく行為届出は、景観育成地区については建築確認申請を要する行為、育成地区外は一定規模の建築行為を対象と定めている。令和6年度の届出件数は57件であった。また、景観に対する普及啓発活動として、第8回だざいふ景観賞を実施した。

屋外広告物については、条例に基づいた申請が令和6年度は118件であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観計画と屋外広告物条例については、近年の地道かつ毅然とした対応により、関係者には浸透しつつある。今後も継続して地道な業務を行いつつ、さらなる普及啓発活動を検討していく。

状況を示す写真や資料等



評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上地区計画の活用		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	特別史跡大宰府跡や史跡大宰府学校院跡ならびに史跡観世音寺及び子院跡の南面に接する県道筑紫野-太宰府線沿線において、150㎡以内の店舗建築を可能とする歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的景観に配慮した店舗誘導を図っている。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			

平成28年7月より施行しているが、令和6年度も新たな専用店舗の認定は0件であった。

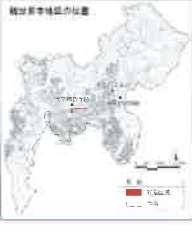
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	地区計画の立地が、天満宮参詣の帰路に位置していることや参道から約1.2kmの距離にあることなどから、観光客の集客が望める適地とはいえない。北側に広がる史跡地の魅力向上を図りながら、長期的な視点で観察し対応していく必要がある。
状況を示す写真や資料等	

＜観世音寺地区歴まち地区計画の概要＞

太宰府市では、新しい地区計画として「観世音寺地区歴史的風致維持向上地区計画」（通称：観世音寺地区歴まち地区計画）を定めた。

本歴まち地区計画は、大宰府政庁跡や観世音寺、戒壇院などの文化遺産を活かして、観世音寺地区の歴史性を高めるため、美観の向上を図るような専用店舗の立地を可能とする用途緩和型の地区計画です。用途の緩和とともに、歴史的な風情を高めつつ、周辺の住宅地環境も守っていくよう、建築物の屋根瓦葺きの指針等についてもルールを定めています。

対象区域内で建築物の建築等を行う場合、あらかじめ市に届出を行い、建築地帯の位置が地区計画に適合しているかの確認が必要となります。



観世音寺地区歴まち地区計画の目標

【地区計画の目標】

- 良好な低層住宅地環境の保全
- 古都太宰府を象徴する文化遺産を活かした歴史・観光核の形成

【まちなみ形成のイメージ】



【建築物の用途の制限の緩和】

【施行例】



兼用住宅で、店舗面積が50㎡以内かつ延べ面積の1/2以内の店舗のみ立地可能でした。

【緩和後】



炭焼店、うどん・そば店を主とする延べ面積150㎡以内の専用店舗も立地可能になりました。

【屋外広告物の形態意匠の制限】

【施行例】



観世音寺地区の広告規制に合った大きさやデザインのルールがありませんでした。

【緩和後】



住宅地と調和する大きさやデザイン、現状の広告物景観を守り、店舗が立地しても派手な広告物が目立たないようルールを定めました。

【問い合わせ先】 太宰府市 建設経済部 都市計画課 都市計画課
 〒818-0196 福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
 Tel: 092-921-2121 Fax: 092-921-1601



対象地域

評価軸 3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	太宰府天満宮門前の歴史的な家屋や市内に点在する社寺建築、ならびに宝満山をはじめとする市域の維持向上すべき歴史的風致に資する歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理等に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内にある歴史的風致形成建造物候補から保存修理に合わせ順次指定を行い、毎年2件の保存修理を実施する計画としている。 令和6年度は小島居小路沿いに所在する歴史的風致形成建造物1件(古川家住宅、明治29年建築)の保存修理を実施した。保存修理では外壁の漆喰や2階の窓部の修理・復元を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	個人所有の建造物については、所有者の意向に左右されるため、予算措置が計画的にできないことがある。また、国からの補助金の低下により、安定的に補助できるか不透明な状況を加味しながら、所有者と協議を進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



(修理前)



(修理後)

古川家住宅

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史的建造物調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	歴史的建造物を計画的に調査することでその価値を明確にする。また、痕跡や関係資料の調査を行い、市内にある歴史的建造物の特性を把握することで、保存修理において旧状に復する際の必要な情報収集を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
太宰府天満宮門前に位置する高田家住宅(新町、江戸末建築)と旧加納家住宅(馬場、明治初期建築)の2件について、文化財的な建造物調査を実施した。旧加納家住宅は参道から曳家した建物で、改変も目立つが参道にあった当時の雰囲気を残し、高田家住宅は現在瓦葺だが当初は草葺という太宰府では数少ない建物で、今回の調査で今後の利活用や周辺の修理修景等の参考となるデータを記録することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	調査が必要と考えられる歴史的建造物の所有者に対し、早期に協議を進め計画的に調査が実施できるよう努める。		
状況を示す写真や資料等			



旧加納家住宅調査



高田家住宅調査

評価軸 3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
観世音寺鐘楼保存修理事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	鐘楼は、昭和20年代に現在地に移設され、国宝の梵鐘を吊るしているが、鐘楼や基壇の石積みに歪みが生じていることから、鐘楼や石積みの修理を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	梵鐘の今後の保存等の方針が決まっていないため、事業が進展していない。今後も所有者の意向を踏まえ、文化財部局と協議しながら検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和7年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府政庁跡とその周辺一帯について、遺構保存修理と共に再整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施に向けて、令和5年度から令和6年度で特別史跡大宰府跡整備基本計画を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和7年度には特別史跡大宰府跡整備実施計画を策定し、その後順次事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度は現場事業なし			

評価軸 3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和8年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府跡・学校院跡・筑前国分寺跡などの大宰府関連史跡周辺の樹木を整理し、万葉の時代に愛でられていた梅などを植栽し、散策路・水路・広場・休憩施設等の環境改善整備を実施する。実施にあたってはユニバーサルデザイン化を進め、多様な人々に対応する史跡環境の改善を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
事業実施に向けて、令和5年度から令和6年度で特別史跡大宰府跡整備基本計画を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和7年度には特別史跡大宰府跡整備実施計画を策定し、その後順次事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度は現場事業なし			

評価軸 ③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大宰府関連史跡等保存活用計画策定事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡とは、市内に所在する8つの史跡で、そのうち保存活用計画が策定されていない特別史跡大野城跡・水城跡、史跡観世音寺境内及び子院跡・筑前国分寺跡・国分瓦窯跡・大宰府学校院跡の保存活用するための計画を策定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
特別史跡大宰府跡整備基本計画を令和4年度から令和6年度で作成するため、未策定の6史跡の保存活用計画については策定できていない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	特別史跡大野城跡に関しては福岡県が主体となり令和7～9年度に保存活用計画の策定を行う。今後は、残る5史跡の保存活用計画を計画的に策定する必要がある、他市町に跨る史跡もあるため、関係市町及び福岡県と連携を十分に図り、事業を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
特別史跡水城跡保存修理整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成19年度～令和14年度	
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業補助金	
計画に記載している内容	風雨による長年の損傷箇所の修理、修復を行う。また遺跡に影響を与える樹木などの間伐といった計画的な緑の維持管理を実施する。併せて広場、サイン、便所、四阿、園路などの環境整備を実施する。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
水城跡（約10ha）について、樹木の繁茂、豪雨による法面崩壊等の自然的要因、また、人の通行による踏圧によって、土塁など遺跡そのものの劣化が進行している。このため、現状より悪化しないよう遺構の修理を実施し、また、環境整備を行うことで、史跡にふれる機会の充実を図る。令和6年度は、便益施設水城館が開館して8年目にあたる。来館者数は初年度から令和元年度までは12,000人を超える多くの方に継続的に好評を得た。その後はコロナ禍の影響もあり、令和2年度は6,433人、令和3年度は5,874人であったが、令和4年度は9,984人、令和5年度は8,357人、令和6年度は4月から1月末で6,725人と回復傾向である。令和6年度事業は水城跡東土塁東部の樹木整理等工事（伐採48本、剪定34本）を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	樹木整理は土塁をき損する恐れがある大木・高木を中心に剪定・伐採を行った。特別史跡水城跡は隣接する大野城市との連携を十分に図り、整備を実施していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



事業実施前



事業実施後



事業実施前



事業実施後

評価軸 3-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
特別史跡水城跡環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	特別史跡水城跡東門跡は、古代からの玄関口であり、さいふまいの参詣道である日田街道が縦断する。一方で、県道112号が縦断する箇所には、電線が景観を害するように縦横に敷設されており、景観改善のための周辺一帯の環境整備を実施する。また、御笠川によって東西の往来を妨げている区間について、アクセス路を整備し、水城跡の東西散策への便益向上に図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財部局や道路関係部局等と協議を重ね、事業実施に向けて検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		評価対象年度
現在の状況		項目
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手		特別史跡大野城跡環境整備事業
事業期間 平成20年度～令和14年度		
支援事業名 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備		
計画に記載している内容	平成20年(2008)度から実施している土塁の環境整備について、今後は増長天西側土塁修理および環境整備、増長天礎石群の環境整備を実施し、順次、土塁、石塁、礎石群の環境整備を実施する。また、追加指定された原山地区の解説広場などの環境整備を行う。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
福岡県文化財保護課では、平成20年度から増長天地区の整備に着手しており、令和6年度は令和5年度の災害で損じた土塁の復旧に加え、礎石建物脇の法面保護工事、鏡ヶ池周辺の樹木整理、踏圧により決壊している山道・園路の補修や基盤舗装を施工した。特に、法面保護工事は近年顕著となっている猪による獣害対策にも応じたもので、獣害防止用のネットが付いている芝製品を用いて施工した。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		事業主体の福岡県や、県が設置している大宰府史跡調査研究指導委員会整備部会などとも連携し、史跡の適切な保存と効果的な活用を図るため、整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等



鏡ヶ池周辺の樹木整理



増長天礎石群法面整備

評価軸 3-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
史跡宝満山整備計画策定事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和10年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	史跡の保存と活用を適切に行うため、文化財の調査成果はもちろん、防災・減災の観点に基づき、史跡が跨いでいる筑紫野市と連携しながら、整備計画を策定する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史跡が2市に跨り、かつ民有地が多く含まれるため、関係機関や地権者との十分な協議が必要である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
歴史の散歩道環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史の散歩道は、太宰府天満宮から水城跡までに点在する「さいふまいり」の名所を、歴史的風致を感じながら散策できる道路で、劣化した道路の改修や安全性に配慮した散策路の拡幅、そして附帯する防護柵・カーブミラーなどを景観に配慮したものに更新する。また、散策環境向上のため水辺環境や休憩施設などの整備を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	現在まで散歩道の付帯施設の修景を実施してきたが、散歩道の全体的な整備方針が定まっていないため、令和7年度に基本設計を行う予定で、安全で良好な散策環境の整備を目指す。		
状況を示す写真や資料等			
			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
太宰府天満宮参道環境改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和7年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	太宰府天満宮参道は、平成の初めに無電柱化などの環境整備事業を実施したが、事業から30年以上が経過し、路面の石畳やタイルの傷みが目立ちはじめ、参道景観に影響が出てきており、それらの改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、参道西側について現場測量や施工内容等を検討し、事業の実施設計を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和7年度に令和6年度で設計を行った参道西側について工事を実施し、その後も順次環境改善を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
【対象路線測量図】			
半たわみ石畳風舗装		ストリートプリント舗装	
		脱色アスファルト舗装 【採用を検討している舗装材】	

評価軸 3-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
小鳥居小路周辺環境改善事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和10年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小鳥居小路から宰府宿の入口のひとつである溝尻口までの道路について、沿道にある地域活性化複合施設「太宰府館」や水路等を活かした環境整備を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	対象地である小鳥居小路や太宰府館一带の活用状況を踏まえ、有効な事業展開を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
朱雀大路修景整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和5年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

県事業として整備が進められている県道観世音寺二日市線の道路について、整備事業と連動し、神幸式の経路のどんかん道である古代の朱雀大路を顕在化する。また、さいふまいるの名所「幸橋」の顕在化も図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度は、当初実施を予定していたが、国庫補助金の低下により、事業実施を見送った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

令和7年度以降に適切に実行できるよう国庫補助を要望し、早急に事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



事業平面図



事業予定地

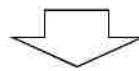
評価軸 3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目		現在の状況
日田街道修景整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	令和9年度～令和12年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	街道沿いに設置している防護柵・カーブミラー等を景観に配慮したものに改修する。また、国分地区については、かつてあった松並木を復元する。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
令和6年度は、通古賀地区一画に位置する老朽化した転落防止柵(L=53m)について、景観に配慮したダークブラウン色の柵に改修を行った。		
進捗状況※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	令和7年度以降も、建設部局と協議を重ねながら順次事業を実施していく予定である。	
状況を示す写真や資料等		



施工前



施工後

評価軸 3-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
日吉神社通路環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史の散歩道から日吉神社までの市道の美装化を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史の散歩道と接続する関係もあり、散歩道整備事業との連動を考慮し、R6年度からの事業実施を先送りとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	歴史の散歩道環境整備事業の進行状況を踏まえながら事業実施を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

令和6年度	
項目	現在の状況
歴史的市街地の修景推進事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和14年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	歴史的風致やまち並みを阻害している建築物等の修景や除却を行う。
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
令和6年度は、太宰府天満宮参道沿いの1件(コガ梅香軒)について、修景工事を実施した。事業では外壁や下屋庇、室外機等の修景工事を行った。	
進捗状況※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	修景補助対象路線沿いの所有者について、計画的かつ効果的な事業が実施できるよう、事業の周知を計画的に行っていきたい。
状況を示す写真や資料等	



対象路線図



修景前

コガ梅香軒

修景後

令和6年度	
項目	現在の状況
歴史的市街地の緑化推進事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成25年度～令和14年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	歴史的風致を損ねている沿道環境などの緑化修景を行う。
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
令和6年度の事業実施件数は1件(朱雀6丁目)であった。実施内容は、どんかん道沿線の新築住宅地に補助対象のおすすめ樹種であるヤマボウシを1本植樹した。	
進捗状況※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	緑化補助対象路線沿いの所有者について、計画的かつ効果的な事業が実施できるよう、事業の周知を計画的に行っていきたい。

状況を示す写真や資料等

歴史的市街地緑化推進事業補助対象範囲

・・・で示す道筋沿いで道路境界から5mの範囲



対象路線図



令和6年度実施状況

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
四王寺山周辺環境整備事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 平成23 年度～令和14 年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(効果促進事業)

計画に記載している内容	四王寺山南麓の森林や「市民の森」に進行している竹林を伐採しながら、計画的に樹木の伐採・剪定などの環境整理を行う。また、森林内に設置されているベンチや案内板などの施設を改修する。
-------------	--

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

社会資本整備総合交付金を活用し、太宰府市民の森内の老朽化した施設の改修工事（木橋更新、パーゴラ改修、四阿改修等）及び樹木整理工事の設計を行い、福岡県の展示林整備事業にて本工事を実施した。（3月末終了予定）

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

市民の森については、今後も市民団体と協力・連携し、森林環境譲与税や展示林整備事業を利用した計画的な整備を実施していく。史跡地の森林については、史跡の整備計画等に基づき、周辺の環境整備を計画的に実施していく。

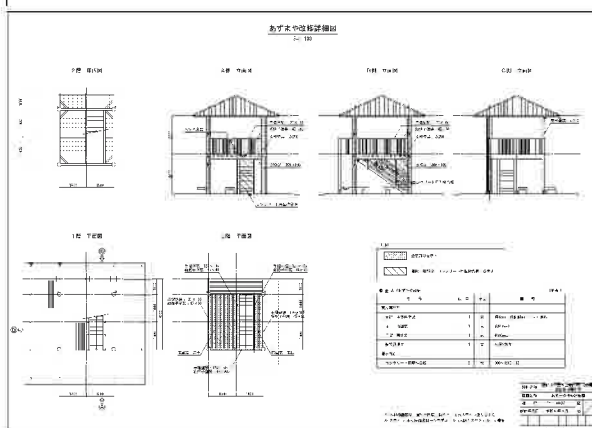
状況を示す写真や資料等

令和6年度四王寺山(市民の森)施設改修等工事

■ 図面リスト

国産品名	国 産 科 目	解 氏 氏 名	検 数
1	医 薬 リス ト、他 薬 部	サハ 1000	1
2	本邦産古洋酒類	S-1 30	1
3	本邦産粉類増量	S1 30	1
4	バーゴラ製油増量	既 示	1
5	バーゴラ製油増量	医 学	1
6	あすまや改修油増量	S4 100	1
7	徳島製油増量	既 示	1
		合 計	7

■ 位置図 (S=1:5000)



設計名称	令和6年度西工寺山(市民の森) 施設改善工事				
図面名称	図面リスト・位置図				
縮 尺	5-1 50/30 (A3)		冊	1	
概計年月	令和6年9月		番	7	
太 宰 府 市					

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
大宰府関連史跡、史跡宝満山のサイン整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和5年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	大宰府関連史跡や史跡宝満山に、来訪者を誘導する案内板や誘導板を設置する。また、既設の老朽化した誘導板や解説板をユニバーサルデザイン化した解説板に更新する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
解説板の事業予定24件、誘導板の事業予定15件のうち、解説板5件を新規に設置した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	未設置の解説板・誘導板、老朽化した解説板・誘導板があるため、史跡整備計画や保存活用計画に基づき、設置、改修を実施していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
 特別史跡大宰府跡 蔵司地区  史跡大宰府学校院跡 北側  特別史跡大宰府跡 月山東官衙跡  史跡大宰府学校院跡 南側  特別史跡大野城跡 原山本堂跡			

評価軸 3-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
さいふまいの風景地環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和11年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	さいふまいの風景地であった思川・岩踏川(御笠川)、白川(鷺田川)、藍染川沿岸の防護柵・カーブミラーや散策路などを景観に配慮したものに改修する。また、河川に架かる橋梁の欄干などの塗装補修を実施する。さらに、岩踏川の由来となった岩盤の顕在化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	建設部局等と調整しながら、事業の実施を検討していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
金掛け梅公園整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和7年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中世の金掛け梅伝承地において、神幸式大祭ならびにさいふまいるの歴史的風致を向上するための解説板やベンチの整備、樹木の剪定を行い、オープンスペースとして公園整備を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	対象地周辺の利活用を踏まえ、事業内容や実施時期について、地元や関係機関と十分協議を重ねていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
苧萱の閑跡環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和9年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	苧萱閑跡に四ヶ国語対応の解説板を設置すると共に、前面の道路部分の路面を修景し、苧萱閑跡を顕在化させる。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	建設部局等と協議を行いながら、事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
朱雀大路解説広場整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和6年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	古代の朱雀大路を踏襲する県道観世音寺二日市線の拡幅工事に伴う残地を朱雀大路の解説広場に整備し、解説板やベンチなどを設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	用地買収等の遅れにより事業は実施できていないが、今後建設部局や文化財部局と協議を重ね事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R 6 年度の事業なし			

評価軸 3-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
筑前国分尼寺跡解説広場整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和12年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	筑前国分尼寺跡の一角に解説広場を整備し、周辺で出土した礎石を移設し、解説板を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後予定地を選定し、地元や文化財部局と協議を重ねながら、事業を実施していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
御笠団印出土地解説広場整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和10年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	御笠団印出土地周辺を解説広場として整備し、解説板の改修を行い、ベンチ等を設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	隣接している歴史の散歩道整備事業の進捗を踏まえながら、所有者と協議を重ね、事業実施を検討していく予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
小町広場環境整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和13年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小町広場を多目的に利用できるよう広場内や出入口を改修する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域住民等と協議しながら、有効な事業実施を検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
大宰府跡ガイダンス施設等整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和12年度～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	特別史跡大宰府跡周辺に、大宰府関連史跡を身近に感じることができるガイダンス施設を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大宰府史跡の整備計画を踏まえ、文化財関係部局をはじめとする関係機関で協議しながら、有効な事業実施に向けて検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
都府楼交流施設整備事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和13年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大宰府跡周辺に大宰府関連史跡に携わる史跡解説員や史跡を管理する人たちが集い交流を深める施設を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
R6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大宰府史跡の整備計画を踏まえながら、解説員や地元の人々と協議を重ね事業実施を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
四王寺山の環境保存活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	四王寺山の自然環境の維持向上に資する民間活動の育成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、市民の森を利用する人たちのつながり、森林を守る人材を育成するきっかけ作りとして、市民の森の手入れ、及び市民の森園路に伐採木を活用した清掃道具棚を4箇所、清掃道具を設置し、利用者自ら管理できる体制づくりの構築し、歴史的風致の維持向上の推進を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市民の森の維持管理については、定期的な維持管理(樹木整理、草刈、便所掃除)は実施できているが、日常的な維持管理を実施する体制が整っていない。そのため、体制構築について利用者及び周辺住民の意見を聴取し、日常の維持管理方法について検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



市民の森での活動

伐採木を活用した
清掃用具棚

評価軸 3-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
門前町並み保存活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成22年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	まち並み環境の維持及び向上に資する活動の検討および民間活動団体の育成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「太宰府天満宮門前六町まちづくり協議会」は、歴史的まちなみを維持形成するための地区のルールづくりや、建築物の修景基準の検討などを行うための協議会として立ち上げ活動を始めている。令和4～5年度にかけては、2期計画実施にあたり、課題抽出のための協議を行い、令和6年度からは補助金に頼らない活動を実施する方針のもと検討を重ねた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	協議会として補助金に頼らない活性化の取り組みを検討しており、行政としてはできる範囲で協力していく。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 3-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
太宰府市民遺産育成支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成23年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	太宰府市民遺産普及のための活動支援、解説リーフレット等の作成や映像記録を行うほか、ホームページによる情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観・市民遺産会議運営会議を3回開催したことに加え、普及イベント「市民遺産フェスタ2025」を実施し、市民が市民遺産への関心を高める機会を作った。市内でパネル展示をおこなった他、市民遺産をテーマにしたこども学生美術展を実施し、118点の応募があった。応募作品は地元大学主催のイベントでTシャツアートして活用されるなど、大学と連携した取り組みも実施できた。これらについては、市民遺産ポータルサイト(HP)で適時、情報発信を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	市民の市民遺産に対する認知度をさらに向上させ、文化財を守り育てることが豊かな生活につながるという意識を醸成させる必要がある。地元学校との連携をさらに進めたい。		

状況を示す写真や資料等



だざいふ景観・市民遺産フェスタ2025



令和の都こども学生美術展市民遺産作品展示



太宰府市民政庁まつり



こども学生美術展作品のTシャツアート



景観・市民遺産会議役員会



市民遺産パネル展示

評価軸 3-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
民俗文化財調査普及事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和6年度～令和14年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な祭事・行事や伝統技術・産業など、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、有形・無形の民俗文化財の調査を実施し、リーフレット等の刊行物の作成や映像記録等の作成を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
R6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	当初は令和6年度開始予定であったが、本計画をはじめとする事業調整を行い、令和9年度より隔年で実施する予定である。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸 ③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
太宰府発見塾事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成17年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	市民ボランティアを募集し、過去に行った文化遺産調査の追跡調査を実施する。あわせて地域の歴史文化の講座や文化遺産の活動団体による講座を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は事業を実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和7年度より事業を再開予定である。文化遺産の初期の調査事業から20年近い時間が経過していることから、過去に調査した文化遺産の現状把握が必要である。また、文化遺産調査の未実施地域もあることから、調査を行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
R6年度の事業なし			

評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
太宰府の絵師関係資料調査普及事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和6年度～令和14年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(効果促進事業)		
計画に記載している内容	近世・近代とさいふまいのりの名所や恵比寿神を描いてきた太宰府の町絵師の資料を調査し、展示や出前講座などの普及啓発活動を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・太宰府の町絵師資料を200点以上調査した。 ・調査資料を「まるごと太宰府歴史展」で展示し、市民への普及啓発をおこなった。 ・普及啓発広報誌『宰府画報』を年4回刊行し、太宰府の町絵師や関連する名所や名物を紹介した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	資料調査と普及活動を継続し、太宰府の歴史的風致に関する意識を高めていく。		
状況を示す写真や資料等			



調査資料の一部



調査風景



「まるごと太宰府歴史展2024」資料展示状況



『宰府画報』

評価軸 4)-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	防災・防犯など文化財を取り巻くリスクを把握し、予防策を計画的に取り組む。また、文化財の管理施設については予防査察を実施したり、消火設備の設置を推進していく。また、防災意識向上を図るため、消防訓練や防災・防犯の対策の大切さを伝える広報・普及活動に取り組んでいく。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーの期間中に、市内の文化財保管施設を中心として、防火意識の再確認ならびに防火意識の向上を図ることを目的として、消防本部、消防署と連携し消防査察及び消防演習を実施した。令和7年1月14日～16日に、市内の文化財関係施設8ヶ所の消防査察を実施し、2ヶ所で消防演習を行った。また、文化財防火デーの期間中は市庁舎に懸垂幕を掲示したほか、各施設に立看板とポスターを設置した。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		例年、文化財防火デーに合わせ、市内にある文化財所蔵施設の消防査察を実施し、市内文化財所蔵施設2ヶ所にて、消防演習を実施している。引き続き文化財保存のための機器点検・防災意識向上を図っていく。	
状況を示す写真や資料等			



消防査察（観世音寺）



消防演習（太宰府天満宮）



文化財防火デーパレード（参道）

評価軸 4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和6年度
		現在の状況	
文化財の保存・活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	市内に豊富にある文化財とその調査情報を市民に還元するため、史跡整備や展示、ホームページの利用など様々な形での普及啓発や情報発信に取り組み、市民が文化財に親しむ機会の充実に努める。また、伝統文化の担い手の発掘・育成を見据え、文化遺産に関わる人材育成へつながるような取り組みを行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・市指定文化財候補1件について、文化財専門委員会で審議し、市指定文化財に指定した。 ・文化財の普及啓発のための出前授業や講座、イベントを23回実施した。 ・まるごと太宰府歴史展を実施し、普及啓発を進めた。来場者数：2,091名 ・市内関連文化財10件の3Dデータを作成・公開。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も展覧会や講座を軸に普及啓発を進め、3Dデータの公開件数も増やしていく。		
状況を示す写真や資料等			



まるごと太宰府歴史展の展示状況



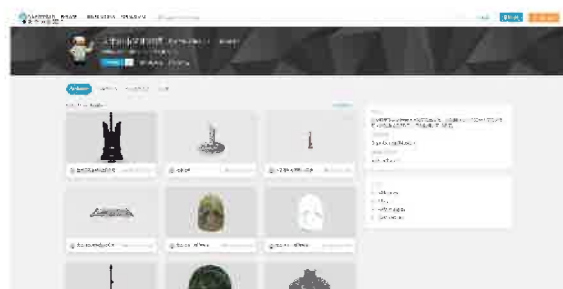
まるごと太宰府歴史展ギャラリートーク



まるごと太宰府歴史展イベント風景



市指定文化財の新指定「光明寺本堂」



3Dデータ公開サイト「sketchfab」公開状況

評価軸 5)-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル		評価対象年度 令和6年度
年月日	掲載紙等	
天満宮に水のアーチ 太宰府で消防演習	令和7年1月28日	西日本新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
本計画と直接的なことではないが、R6年度の夏季には太宰府市が猛暑記録が続いたため、太宰府天満宮参道の街並みが報道される機会が多くあり、本計画で実施した建物の修理修景した成果が間接的に全国に知られることとなった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	今後も積極的に情報発信に努める。	
状況を示す写真や資料等		

項目

集客数等に見る効果

計画に記載している内容 歴史的風致維持向上計画の実施により、本市が持ち得ている魅力を向上させ、市民の歴史的風致に対する認識や愛着が深まることが期待でき、市内外の人々に太宰府市固有の情緒や風情を伝えることができる。さらに、来訪者の回遊性を高め、市内の滞在時間を伸ばすと共に、市民に日々の散策地を提供することができ、市民満足度の向上などが期待できる。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

太宰府市には太宰府天満宮を中心に多くの観光客が訪れている。太宰府天満宮から離れた場所に位置する文化財関連施設の令和6年度の集客数は、文化ふれあい館入館者数19,954人、水城館入館者数8,678人、大宰府政庁前バス駐車場の駐車台数は312台であった。太宰府市を訪れる観光客の状況を見ると、コロナ禍の影響はなくなっていると推測され、各施設の入館者状況も落ち着きつつあるが微増している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

太宰府市への観光客は、太宰府天満宮界隈を中心に訪れているが、周辺への回遊性は不十分である。そこで引き続き歴史的風致維持向上計画の事業を進めていくことで、歴史的風致の維持向上を図り、地域の魅力アップによる回遊性の向上に繋げていきたいと考えている。

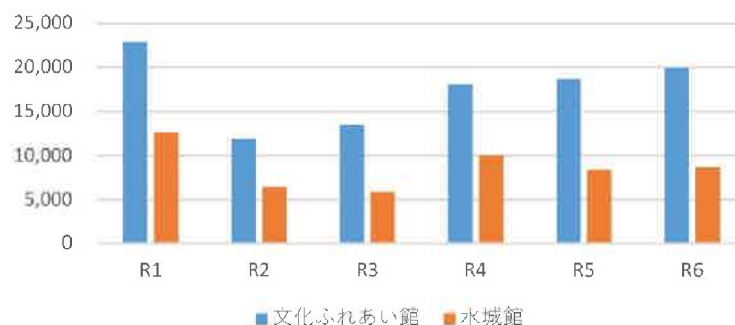
状況を示す写真や資料等

文化ふれあい館・水城館入館者数

単位：人

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
文化ふれあい館	22,924	11,885	13,501	18,088	18,701	19,954
水城館	12,642	6,433	5,874	9,984	8,357	8,648

文化ふれあい館・水城館入館者数推移

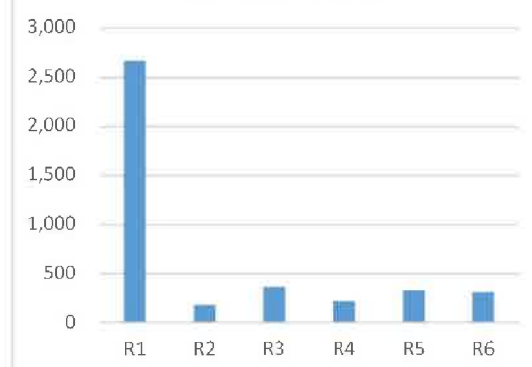


大宰府政庁前バス駐車場利用台数

単位：台

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用台数合計	2,665	180	363	220	328	312

利用台数合計推移



法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	令和6年度
・ 法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和6年度第2回太宰府市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和7年3月26日(水)	
(コメントの概要) ・宝満山には説明板がないので、ちゃんとした説明板を設置してほしい。 ・説明板を多言語対応にするのは重要である。 ・太宰府天満宮参道環境改善事業について、石張りから他の舗装にするのなら、歴史的風致は低下という捉え方もできる。歴史的風致の維持向上についてよく考えていただきたい。 ・太宰府天満宮参道環境改善事業について、最近は気温が高いので、景観の問題だけではなく、環境面も考慮して検討すべきである。 ・出された意見については検討され、今後も丁寧に説明していただきたい。	
	
令和6年度第2回太宰府市歴史的風致維持向上協議会の様子	
(今後の対応方針) ・太宰府天満宮参道環境改善事業については、再度検討を重ねながら、地元をはじめ関係機関と協議を行い、事業を進めていく。	